

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地域協議会創設事業				担当部	市長公室				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	協働推進課				
	事業期間	平成24年度		～	平成30年度以降		担当係	地域協働係			
	総合計画 分野別計画	主目的	7 行政経営	30 地域協働	2	コミュニティ活動を推進します					
		副目的									
	予算区分	款	2	項	1	目	9	大	3	中	3
	根拠法令・個別計画	小牧市地域協議会制度方針、小牧市地域助け合い交付金交付要綱									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や人口減少と少子高齢化の同時進行に伴う様々な地域課題に対して、区(自治会)やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指す。									
	内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ◆25年度実施内容 ■地域協議会市民会議の開催(3回) <ul style="list-style-type: none"> ・陶小学校区地域協議会における事業計画の審議、意見交換など ・地域協議会市民会議委員による先進地視察研修を実施 (滋賀県湖南市:菩提寺まちづくり協議会) ■区長会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・区長会まちづくり講演会の実施(四日市大学:岩崎教授による講演) 参加者:83名 ・区長会先進地視察の実施(滋賀県長浜市:地域づくり協議会) 参加者:78名 ■地区区長会への制度方針説明(6地区) <ul style="list-style-type: none"> ・篠岡地区(7月 7日) ・巾下地区(7月19日) ・小牧地区(7月12日) ・味岡地区(7月20日) ・北里地区(7月14日) ・小牧南地区(7月23日) ■福祉課、社会福祉協議会との連携(6地区:7会場) <ul style="list-style-type: none"> ・区長と福祉関係者が参加する「地域座談会」を小学校区単位のグループで開催 ■小学校区単位の住民勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・三ツ瀨小学校区(11月19日) 対象:区長、副区長、三ツ瀨学区コミ会長 ・篠岡小学校区(1月25日) 対象:区長、子ども会、老人会、PTA、民生児童委員など ■陶小学校区地域協議会設立への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・規約、事業計画作成への助言 ・活動拠点の調整 <ul style="list-style-type: none"> ◆平成25年度直接経費の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会市民会議委員謝礼(385千円) ・その他、消耗品費、食糧費等(152千円) ◆平成26年度直接経費の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会市民会議委員謝礼(656千円) ・小牧市地域助け合い交付金(908千円) ・小牧市地域協議会事務局開設準備交付金(500千円) ・その他、講師謝礼、筆耕翻訳料等(576千円) 									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	0	1,525	537	2,640	
		正職員	従事者数	人	0.00	1.10	1.30	1.50
			人件費	千円	0	5,786	6,838	7,890
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	0	7,311	7,375	10,530	
対前年比	%			#DIV/0!	100.8	142.7		
財源	一般財源	千円	0	7,311	7,375	10,530		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	績	地域協議会市民会議	回数	目標		6	4
回数			実績		6	3	
小学校区単位の住民勉強会等		回数	目標				8
		回数	実績				
成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26	
地域協議会の設立(累計)	地区	目標			2	5	
	地区	実績			1		
地域協議会の事業	事業数	目標			0	3	
	事業数	実績			0		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	6月に本市における地域協議会の制度方針を決定し、区長会への説明のほか、地域座談会やその他地域ごとの自主勉強会などを繰り返し、地域協議会の意義や必要性を感じていただけるように働きかけた結果、陶小学校区において市内第1号の地域協議会が設立された。			
	平成25年度の実施結果	事業実施における課題	まだ地域協議会の意義や必要性についての認知度が不十分のため、小学校区単位の住民勉強会の開催方法や広報の仕方を見直すなど、市民へ広く周知するための方策を検討する必要がある。			
	平成25年度の実施結果	事業を縮小・廃止したときの影響	人口減少と少子高齢化に伴う税収の減少や扶助費等の義務的経費の増大など、今後は現在の行政サービスを維持することが困難になることが懸念される。そのため、地域で助け合い、支えあう新たな仕組みの構築を活力がある今のうちから進めていく必要がある。			
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	地域ごとの住民勉強会の開催について、小学校区単位で参加者を集めてもらえるように区長等へ依頼し、地域協議会設立への機運が高まるよう工夫していく。			
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの			
	判定理由	将来的に安心して暮らし続けられる地域づくりを行うため、地域で助け合い、支えあうための新しい仕組みづくりを構築していく必要がある。				
	27年度以降の改善案	最終的には全市的な設立を目指すため、継続的に取り組む必要がある。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡大	一次評価のとおり。